

2014. 5. 25 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



2014年

グレイトハウス著「主が聖であられるように」

XVII. 山上の垂訓②「キリスト者の生き方」

テキスト：

「心のきよい者は幸いです。その人は神を見るからです。」
(マタイ 5:8)

復習：

「山上の垂訓」とは、律法的命令ではなく、不可能な理想でもない。
それはイエスが齎した神の国で実践される信仰の描写である。

A. 至福の教え（続き）

1. 第五の宣言：憐れみ深い者の幸い(7節)

「憐れみ」は、律法の中で一番重要なものであり、神が私たちに期待しておられる性質である。

2. 第六の宣言：心の清い者の幸い(8節)

「きよい」(カサロス)とは、「不純物のない」ことで、不純物を含まぬ水、葡萄酒、穀物、金属等を指す。心の聖さとは、単純な心で神に献身することである。その反対語は「二心」(ヤコブ 4:8)。私たちは主を愛する純粋な心をもって神を見る(この世においては霊的に主を見、来たる世では顔と顔を合わせて主にお目にかかる)。
[竿代注：「この『聖さ』がなければ主を見ることができない。」(ヘブル 12:14)と言われている「聖さ」(ハギアスモス)は受身形で、

神の力によって、しっかりときよめられなさい、と勧めである。聖めは自分の力で獲得できない。それほど私達は汚れている。神の聖い光の中に出たときには、自分がどんなに聖い人間と思っている、ものすごく欠点を見つけてしまう。聖い主を見て、イザヤは己の汚れを示され、きよめを求めた(イザヤ 6:5)。]

3. 第七の宣言：平和を造りだす者の幸い(9 節)

対立する人々の間に和解を齎すために積極的な努力をする人々

4. 第八の宣言：義のために迫害される者の幸い(10-11 節)

この場合の義とは、キリストに従って神の御心を行うこと。

B. 地の塩・世の光

1. 地の塩としてのキリスト者(13 節)

主イエスは「あなたがたは地の塩である」と宣言しておられる。地の塩になりなさい、でも、なればよいですね、でもなく、「既に地の塩なのです」と語っておられる。

塩は、食物に味を付ける要素、浄化剤、防腐剤であり、主の命令は、キリスト者が塩気を失わないように(塩としての機能を失うまでに、世的な要素と混じり合うことがないように)との点である。

2. 世界の光としてのキリスト者(14-16 節)

ここでも主は、「あなたがたは世界の光です」と宣言しておられる。光となれ、光であるように努力せよではなくて、光だ、と語っておられる。ここでの命令は、光を高く掲げ、愛の良き業によって、光を積極的に示しなさいという点である。